

美濃加茂市の公立小中学校は

コミュニティ・スクール

として動き始めています

コミュニティ・スクールは「**学校運営協議会**」を設置した学校のことです。市内の全小学校は、1学期に「学校運営協議会」を行い、地域・保護者・学校がこれまで以上に連携・協働を図り「**地域とともにある学校**」づくりに向けてスタートを切りました。



子ども達は、地域の様々な人から学んだり、共に活動したりすることで、幅の広い見方・考え方を身に付けることができます。褒められたり、認められたりすることで、自己有用感が育ちます。そして、感謝の気持ちや思いやりの心が育ちます。

みんなで**熟議**（熟慮と討議）をしませんか！

コミュニティ・スクール＝学校運営協議会を進めるうえで大切なことの一つに「**熟議**」があります。



「熟議」のテーマ例

- ・子ども達にどんな力を育てたいか
- ・学力向上のために大人ができることは
- ・いじめを防止するには
- ・あいさつ日本一の学校づくりは
- ・学校と地域と一緒にやれることは
- ・下校時の安全をどう確保するか
- ・教育に地域の力をどう生かすか

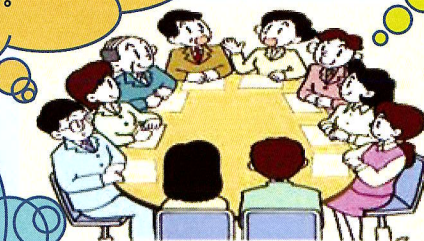
子ども達の活動に関係するみんなで、気楽に、まじめに、和気あいあいと、意見を出し合い、心を通わせ、願いや思いを共有したり、課題の解決策を考えたりします。互いに打ち解け、意識を高め、協働していくための土台作りをします。

<これまでこんなご意見がでています>

運営協議会はネットワークの広がり、フットワークの良さがポイントですね。

子ども達がこのまちに将来住みたいと思えるような地域づくりにつながる活動にしたいですね。

子ども達は毎日元気に明るくあいさつをしてくれます。よいところがいっぱいあります。また、地域には熱い心をもっている人もたくさんいます。多くの人と「共に」という気持ちでやっていきたいと思えます。



学校運営協議会

地域は「学びの場」です。同時に「学んだことの実践の場」にもなります。地域でどんなことができるか、ささやかでも貢献できることを考えていきたいです。

見守り活動を行っています。時々、子どもに手をかけすぎてきたのではと思うことがあります。自分で考え、危険を回避する力を育てたいです。

運営協議会に、児童生徒も入ってもよいのでは？子ども達の考えもぜひ聞いてみたい。

子ども達や学校を取り巻く環境が複雑化・多様化する中、子ども達の輝く未来を創るためには、「社会総がかり」での対応、学校・家庭・地域による一体的な取組が必要です。

それを実現可能にする仕組みの一つが「**コミュニティ・スクール**」です。